

金融データWGの設置について

平成30年9月20日

金融データWG 検討内容(案)

- 「未来投資戦略2018」(平成30年6月15日閣議決定)において、今後10年間でキャッシュレス決済比率を倍増することを目標に、新たなデータの蓄積や、現金処理コストの削減による事業者の生産性向上、消費者の支払いの利便性の向上等を実現する観点から、キャッシュレス化の推進が掲げられ、更なる進展が期待されている。
- また、キャッシュレス化の進展により、決済等に関する新たな金融データの蓄積が見込まれ、金融分野における情報銀行の更なる展開が期待される。

「金融データWG」(H30.9～)

①モバイル決済の推進に向けた実証

決済データ等の利活用にも資すると期待されるモバイル決済の普及に向け、決済の標準化に向けた実証実験を行うことを見据え、実証体制・検証内容等について具体的な検討を行う。

②決済データを利活用した新たなサービス／金融データを活用した情報銀行のユースケース

キャッシュレス化の進展等により生成が期待される金融データ、これの活用により創出が期待されるサービス、及び情報銀行に期待される役割などについて、将来展望や課題について整理する。

アウトプット①

QRコードによるモバイルペイメントの実証の実施内容・体制について

→ 総務省のモバイル決済モデル推進事業の実施内容に反映(平成31年度)

アウトプット②

決済データを利活用した新たなサービス、情報銀行のユースケース

→ 「情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会」に報告(平成31年2月頃～)

金融データWG スケジュール(案)

【議事(案)】

(第1回)9月20日	<ul style="list-style-type: none">・ QRコード決済の標準化検討について(キャッシュレス推進協議会)・ 平成31年度予算要求 モバイル決済モデル推進事業について(事務局)・ 情報銀行の検討状況(事務局)・ 金融関連のデータの活用状況について(Fintech協会)・ 意見交換
(第2回)10~11月頃	<ul style="list-style-type: none">・ 金融データ活用のユースケース・ QRコード標準化の検討状況について・ キャッシュレス実証の実施内容、検証事項について 等
(第3回)11~12月頃	<ul style="list-style-type: none">・ キャッシュレス実証の実施内容、検証事項について・ 情報銀行での金融データ活用の可能性／課題 等

※実証の体制については、各回の間に必要なに応じて追加的な検討の場を設け、詳細について検討する。

【アウトプット(想定)】

1. QRコードによるモバイルペイメントの実証の実施内容・検証事項について
2. 決済データを利活用した新たなサービス、情報銀行のユースケース

【運営】

- ・ 年内を目処にとりまとめを行い、情報銀行の認定指針に係る事項は、「情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会」に報告
- ・ 事後的に会議資料及び議事要旨を総務省HPに公表(会議は非公開)

金融データWG 本日の議事(案)

- 1 ワーキンググループの開催趣旨について（事務局）
- 2 QRコード決済の標準化検討について（キャッシュレス推進協議会）
- 3 モバイル決済モデル推進事業について（事務局）

→ キャッシュレス推進協議会様における検討状況を踏まえ、事務局から説明する「モバイル決済モデル推進事業」の実証事業の実施体制・検証事項について、ご意見をいただきたいと思ひます。

- 4 情報銀行の検討状況（事務局）
- 5 金融関連のデータの活用状況について（Fintech協会）

→ 情報銀行に関する検討状況及びフィンテック協会様からのご発表を踏まえ、

- ・ キャッシュレス化の進展に伴い生成される決済データの利活用
- ・ 金融分野のデータを活用した新たなサービス
- ・ 金融分野における情報銀行のユースケース、指針Ver1.0の見直しの際に留意すべき点について、ご意見をいただきたいと思ひます。